

カラーマネージメントの要素



標準化された印刷物をターゲットとしてこれに色校正、モニタの表示を合わせ込みます。

カラーマネージメントシステム(CMS)を構成する要素
CMS を構成する要素は3 つあります。

① ICC プロファイル

モニタやプリンタなどの装置(デバイス)が表示できる色の範囲(ガモット)を記述したファイルです。ファイル形式は、ICC(International Color Consortium-国際色協会)が規格化し公開しています。対象としている装置により、入力・表示・出力の3種類があります。色変換用のテーブルを記述するフォーマットの規約

② 色変換ソフトウェア(CMM)

ICC プロファイルの情報をもとに目的の色に変換を行います。CMM はOS に組み込まれています。Macintosh はColorSync、Windows はICM2.0 がCMM です。アドビシステムズ社のアプリケーションではACE をCMM として利用できます。一般に元のデータの情報を記述した入力用ICC プロファイルと変換先の情報を記述した出力用ICC プロファイルの2つのICC プロファイルが必要です。

③ 測色器・プロファイル作成ソフトウェア

ICC プロファイルは、用途に応じてユーザーで作成する必要があります。この場合、チャートの測色を行いプロファイルを作成するツールを用意します。出力用ICC プロファイルは、出力装置や用紙のメーカーが提供している場合があります。